

ABiS Symposium

# イメージングデータ解析が拓く 生命科学の新時代

2022/3/1 (Tue) ⇒ 13:00~17:35

Zoomウェビナー  
開催

## 参加者アンケート

実施期間：2022年3月1日～3月8日

実施方法：ABiSウェブサイトアンケートフォーム

参加者数：168名 回答数：73名（回答率43.5%）

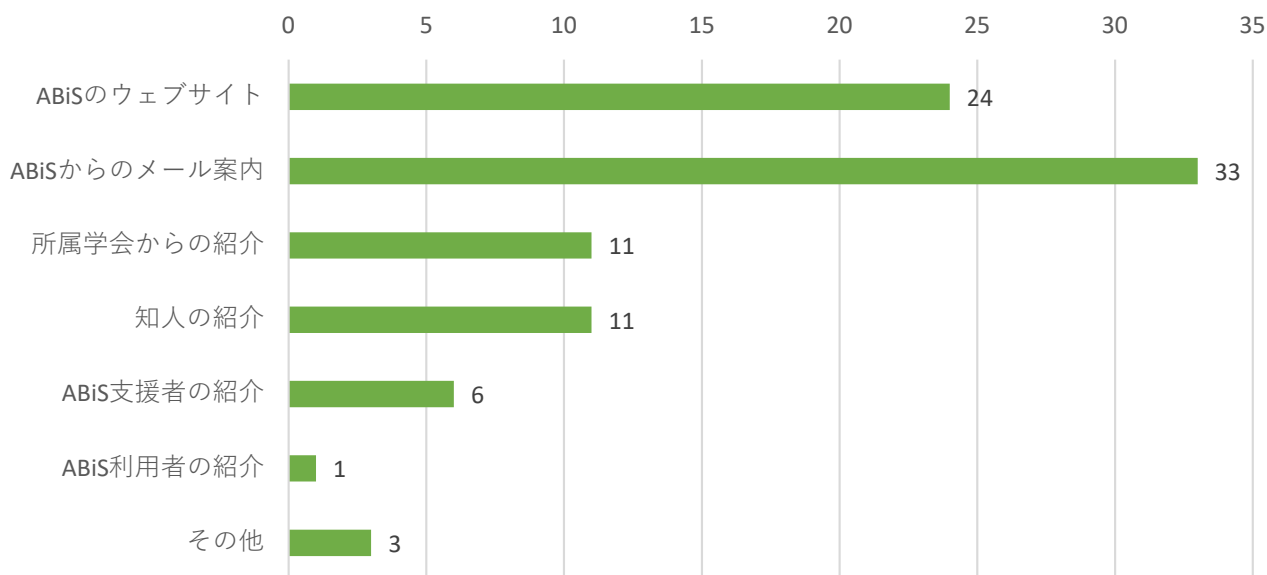
### Q1. あなたの職名をお聞かせください

属性	人数	
Seniorfaculty（教授・准教授相当職）	21人	(28.8%)
Juniorfaculty（講師・助教相当職）	6人	(28.8%)
ポスドク	10人	(8.2%)
学生・大学院生	2人	(13.7%)
企業研究者	8人	(2.7%)
テクニカルスタッフ	1人	(11.0%)
その他	5人	(6.8%)

その他

- ・ 上級技師
- ・ 助手
- ・ URA
- ・ ImagingFacilitystaff
- ・ 国立研究開発法人研究員

## Q2. 本シンポジウムが開催されることを何で知りましたか？ (複数回答可)



### その他

- ・研究所のメール案内
- ・日本細胞生物学会のウェブサイト
- ・nazunaメーリングリスト

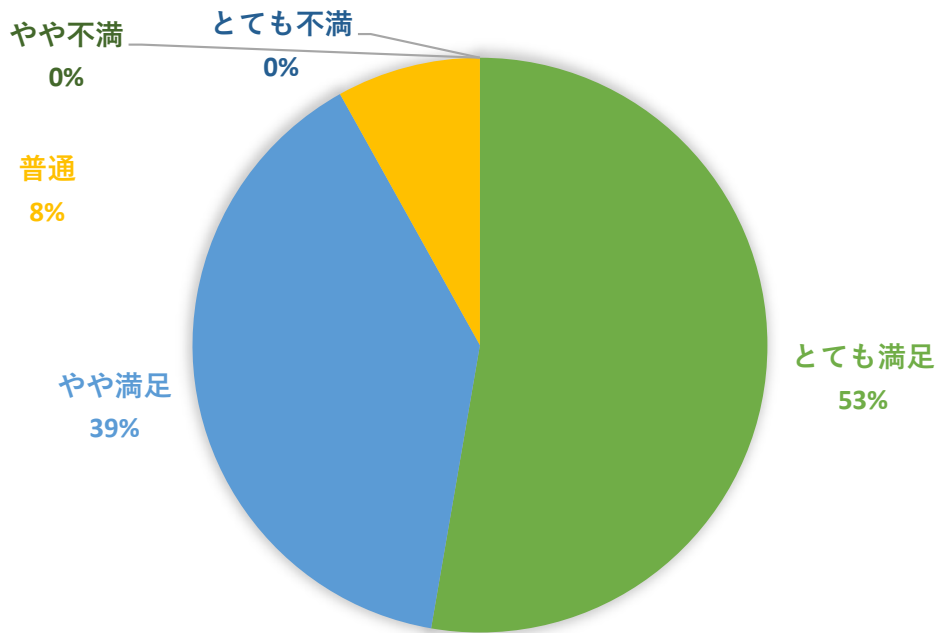
## Q3. 本シンポジウムへの参加動機について教えてください (複数回答可)



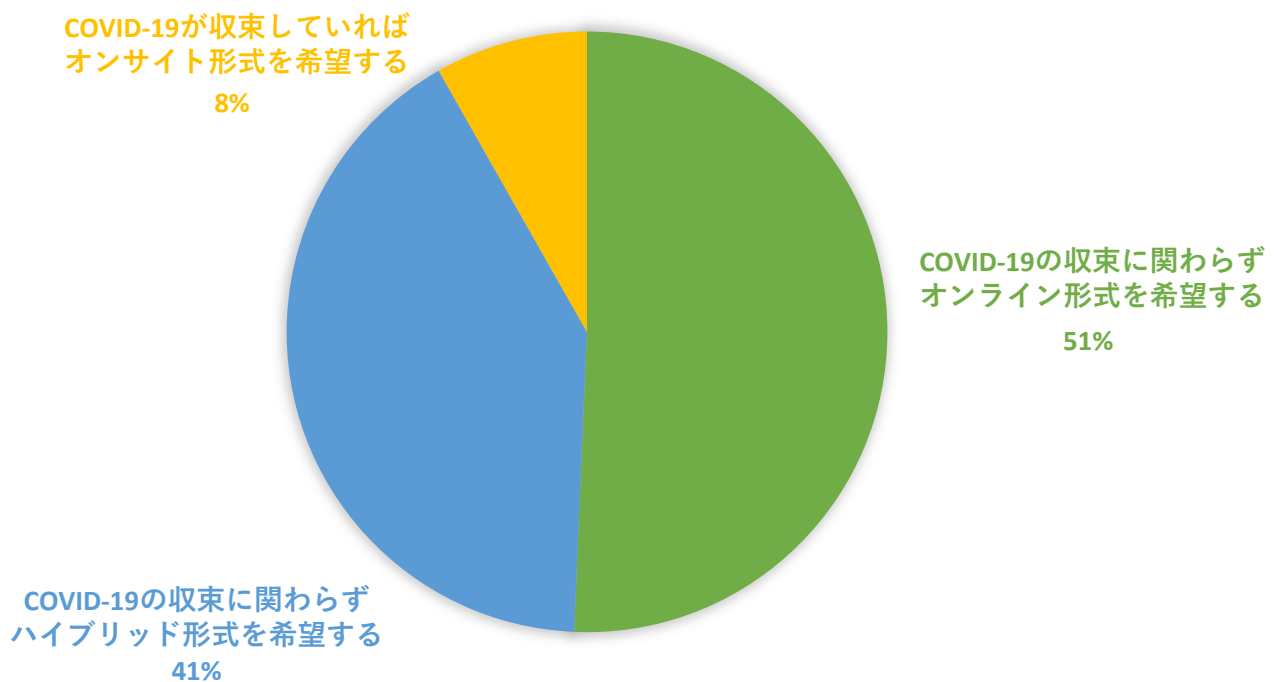
### その他

- ・講演することになったから
- ・ABiSの後継事業の全般に興味があったため

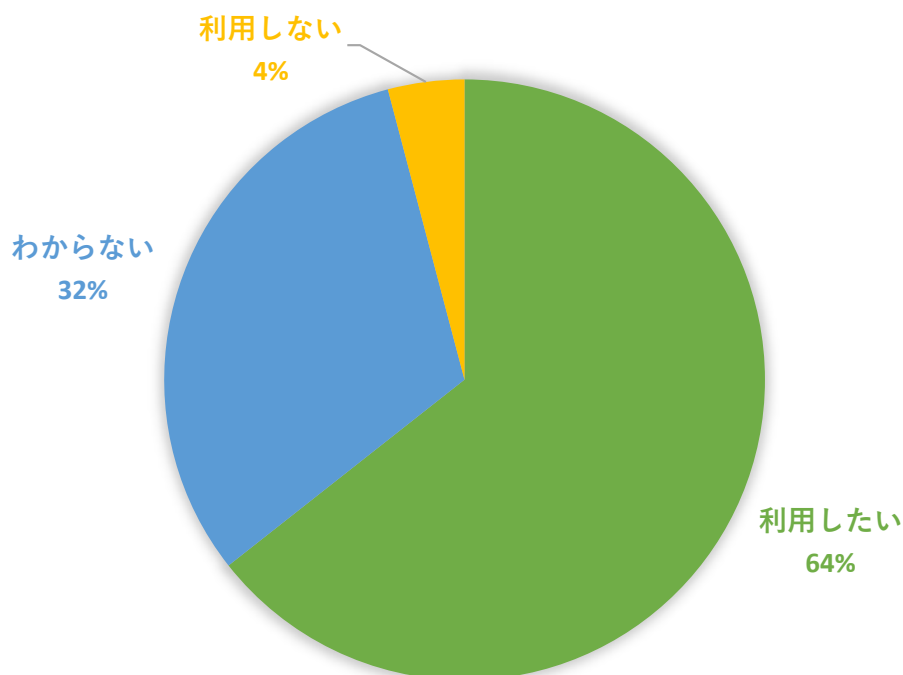
## Q4. シンポジウムに参加した感想を教えてください



## Q5. 今後、ABiSが開催するシンポジウムの形式について



## Q6. 本シンポジウムに参加してみて、 今後ABiSを利用しようと思いましたが？



## Q7. 今後イメージングに関するどのような研究支援があれば いいと思いますか？

- 「画像解析で、〇〇を算出したい」というように明確な目的がある方も多いとは思いますが、必ずしもすべての方がそうであるとは限らないため、かなり漠然とした画像解析の相談にも対応できるようならば、研究者にも相談しやすいかと思います
- スライドスキャナー支援
- どこに相談したらいいのか、わかるようにしてほしい。プライオリティは誰になるのか？
- トレーニング、分析依頼
- マウス脳の透明化、抗体染色、全脳イメージングから得られたイメージングデータの定量解析（例えば遺伝子改変マウスと野生型との統計比較）までの一連の研究の支援
- やりたい事と支援事業のマッチング。スペシャリストとのコンサルテーション
- 画像解析
- 高額な顕微鏡を導入することが難しく、今後も様々な技術支援を続けてほしいです
- 高精細な3D画像の取得と解析の支援、4D解析の支援、in situ sequencingの支援
- 細胞内ミトコンドリアの融合と分裂を経時的にイメージングで観察できればと思います
- 超解像顕微鏡など
- 例えばFRAP・FRET解析など、顕微鏡をより有効に活用できるような、スキルアップを支援するような取り組みがあると嬉しいです
- 連続画像取得およびAI支援の画像解析

## Q8. 今後どのような技術講習会やイベントがあればいいと思いますか？

- AIによる生物画像解析トレーニングコース
- live imagingと電顕レベルの高解像度観察の融合、さらにlarge scale image data解析とAIの活用
- オンラインで参加できる技術講習会
- スペシャリストとのコンサルテーションセッション。こんなことしたい！を気軽に聞けるような
- トレーニングコースの充実
- 画像解析について
- 画像解析技術の講習会がオンラインで人数制限がない形で開催していただきたいです。また、講習会のテキストブック等をHPにて公開してもらえるとありがたい
- 画像作成と解析方法の講習会
- 技術スタッフによる、技術支援方法の発表、支援をされていて困ったことの相談会など
- 顕微鏡写真の自動判別技術に関する講習、動物の行動の撮影と解析方法に関する講習
- 今回は盛りだくさんのシンポジウムで大変聴き応えがありました。そのミニチュア版のようなもので、支援を受けた方が登壇されるオンライン形式のセミナーがあると良いと思います
- 細胞内小器官を経時的にイメージングで観察できる技術講習会があれば幸いです
- 二光子顕微鏡講習会
- 脳画像解析の作成と解釈 ビギナー版
- 汎用技術の紹介

## Q9. ABISへのご意見、ご要望がございましたらお聞かせください

- イメージングのトレーニングコースに参加させてもらったものです。日々の研究に役立っていて感謝しかありません。今後ともよろしく願いいたします
- イメージングは専門外でしたが、今回のシンポジウムで詳しい話が聞けたので良かった。
- オンライン開催の継続をお願いします
- こちらこそ6年間の長期にわたって、大変お世話になりました。私どもでは引き続き支援拠点となりますため、引き続きよろしく願いいたします（\*本日はスケジュールの関係で最初しか参加できず、申し訳ございません）
- これからの6年間において様々な研究分野の最先端技術の融合の場となることを期待します
- ご支援ありがとうございます。来年度も支援申請を予定しております。引き続きどうぞよろしく願い致します
- シンポジウム・トレーニング情報を配信するメーリングリストを作成してほしい。アーカイブ配信をしてほしい
- 技術講習会はyou tubeなどで見れるようにしてほしい。著作権などが問題ならオンデマンドにしてほしい
- 研究基盤を支える重要な事業だと思います
- 大変興味深いシンポジウムをありがとうございました
- 著名な研究者の方々の講演を拝聴することができて大変勉強になりました。ありがとうございました